

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

ベトレヘムの風

発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
 住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



日本医療機能評価機構

No.120

創立90周年「ベトレヘム」から「世界」へ発信します 院長 青木 信彦



赤ちゃんがつかまり立ちをはじめると、かならず一度や二度は転びます。頭でっかちですの後頭部をぶつけます。そんなケガで1万人の赤ちゃんのうち1人くらいは頭の中に出血をおこします。それでも、ほとんどの

赤ちゃんはなんともないのですが、CT検査をすると頭の中に出血がみられることがあります。

コブもないし、ケガのあとありません！
 欧米の医師（ひねくれ者が多い）はいろいろ考えました——頭のキズもないのに、なぜ頭の中に出血をおこすのだろうか？——
 ※ そうだ、赤ちゃんの頭を強く揺さぶれば、キズなしに出血をおこすかもしれない、という奇抜な発想です。これがいつの間にか「揺さぶられっ子症候群」と呼ばれるようになったのです。

この症候群は「The Syndrome」という映画にもなって米国では有名になりました。

その結果、頭に傷跡のない頭蓋内出血があれば「揺さぶられっ子症候群」、つまり「虐待」と診断されて、親たちは逮捕されたり、親子分離などが世界中で横行しているのです。

しかし、日本の専門医は「揺さぶられっ子症候群」の診断はおかしいということに気づいていました。そこで、赤ちゃんはちょっと転んだだけでも頭蓋内出血（硬膜下血腫）をおこすことがある、という事実を論文にしました。この論文は、国際小児神経外科学会の機関誌「Child's Nervous System」に採用され、先月（8月）世界へ発信されました。

※ 欧米からどんな反響がかえってくるのか楽しみです。もちろん、著者の所属はBethlehem Garden Hospital (BGH)、ベトレヘムの園病院です。

これが創立90周年の記念になればいいな、と思っています。

※この論文はQRコードで読めます。原文は英語ですが、グーグル翻訳を使えば日本語になります。みなさん、挑戦してみたいはかがでしょうか！





9月公開講座

「夏バテで疲れた体にビタミンB」を終えて

薬剤師 平澤 佑実彦

昨年、数年ぶりに公開講座を始めることが出来たと喜んでおりましたが、早一年が経ち今年には参加者も1名から11名に、そして何と云っても試食を再開する事が出来ました。

世の中もコロナ前と比べて変わった事はもちろんありますが、多くの事でコロナ前に戻ってきていると思われまます。

しかし、この記事を書きながら思った事が、それは自分がついついコロナ前を目指してしまっているのでは…と言う事です。

そこで今後はコロナ前を見るのではなく、新しい事を始めていかなければと考えるいい機会を与えて頂きました。



今回の公開講座は毎年の酷暑を少しでも良く過ごせればと思い、ビタミンBのお話をさせて頂きました。この時期に公開講座を任せられると、話の内容が似たり寄ったりになってしまいます。その為、今回は試食のメインを豚肉から鰻にしてみました!!

今年の夏は終わりを迎えてきましたが、これからも毎年の夏には今年同様、命の危険を感じるほどの酷暑が続くのかと思われまます。世の中には色々な冷感グッズも出ておりますので使えるものはしっかり使い、無理をなさらず無事に過ごしていきましょう。

我が家のちょっとした 自慢マイブーム part11

冬のソナタから始まり、韓国ドラマをよく見えています。興味がなくても、見ているうちにハマりました。1階の患者さんも韓国ドラマを見ている方がいて、声をかけると「おもしろい」と言っていました。韓国は食べ物もおいしく、東久留米の韓国のり巻き専門店にキンパを買って本場の味を楽しんでいます。

看護師 J.K



小さい頃から本を読むのが好きで、時間を見つけてはジャンルや国内外を問わず読んでいます。読書には様々な効果（表現力や想像力、知識や教養の獲得）がありますが、私は非日常を読書で疑似体験することでストレス発散しています。これから読書には良い季節となってきますので、是非本を読んでみてはいかがでしょうか。その一冊が座右の書になるかもしれません。

MSW 大崎 佐智子



私のマイブームは、ハンドドリップで珈琲を淹れることです。手挽きミルで豆を挽くところから始めるのでひと手間かかりますが、部屋中に珈琲の香りが満ち溢れてとっても幸せな気分になります。珈琲は豆の種類や淹れ方で味が変わるので、色々なお店の豆を味比べしたり、淹れ方を試行錯誤しながら楽しんでいます。

臨床検査技師 阿部 愛



神学生さんのボランティア体験記

神学生 今井 克明



ひと月ではありますが、1階と2階の病棟でボランティアに参加させていただきました。

カトリックの司祭（神父）を目指す神学生として「将来病院を訪問することもあるだろうな」と打算的に病院ボランティアを選んだのですが、結果的に命に向き合う病院ならではの経験をさせていただき、大変有意義な時間となりました。病院で働くことも司祭も誰かの「いのち」に触れ、それが全うされるように支える仕事だと思えます。そこに携わるといことは覚悟のいることであり、特に近くで拝見させていただいた看護師の方々やケアワーカーの皆さんの姿勢に学ぶところが多くありました。また患者さんも自身が大変な中で、不慣れな私に「いつもありがとう、がんばってね」と声をかけてくださったり、神学生であることを伝えると「お祈りするね」と言ってくださったりと、本当にありがたかったです。「生きることは愛すること」という言葉のとおり、全ての人が生きることを通して愛することを伝えあっているような病院でボランティアできたことを大切に、フロジャク神父さまのような命をいつくしむ司祭となれるよう、この経験を生かしていきたいと思えます。短い間でしたが、大変お世話になりました。

～ ベトレヘムの園病院は今年創立90周年を迎えます ～

記念事業として現在、90周年記念誌の制作を進めています。

（90周年記念誌制作エピソード その1）

今回の記念誌制作に際して、元職員さんから貴重な写真の提供がありました。創業者フロジャク神父さまを中心にした集合写真で、足元に愛犬・マルゴの姿もあります。実はこの写真、ベトレヘムの園病院にその昔併設されていた附属の准看護婦養成所（当時の呼称）の卒業生の方々も写っていたのです。

神父さまとベトレヘムの園病院の深いつながりを象徴する貴重な一葉に記念誌発行をきっかけに巡り合うことが出来ました。この出会いに感謝です。

新連載「パストラルの窓から」

カトリックの聖人シリーズ…… 1



©José Luiz Bernardes Ribeiro

©JohnMathewSmith

今月の聖人は
マザー・テレサです。
9月5日が記念日です。



マザー・テレサは1910年、現在のマケドニア・スコピエ生まれ。学校教育を行う女子修道会に入会。インド・コルカタで教員をする中、同地のより貧しい人々と働く呼びかけを受け、こうした活動に専心するようになりました。さらに「神の愛の宣教者会」を創設し、長年、最も過酷で貧しい人々のために世界中で働き、その後継者たちを育ててきました。

1997年に亡くなったのち、2003年10月19日に、教皇ヨハネ・パウロ2世によって列福されました。2015年12月には、脳しゅようを患っていたブラジル人男性の回復が、教皇フランシスコによって2つ目の奇跡として認められ、2016年9月4日に教皇フランシスコによって列聖されました。

インドの貧しい人々とともに働き、「神の愛の宣教者会」を設立し、その活動は全世界に及びました。1997年に没した後、2003年に福者、2016年には聖人に列せられました。

いつも、神の前を歩むよう努めなさい
すべての人の中に神を見いだすために、朝の瞑想を、一日中、生きてゆかなければなりません。
お互いにほほえみ合ひましょう。
いつでも簡単なわけではありません。時には、ほほえむことが難しいこともあるでしょう。その時こそ、祈るのです。

ジャヤ・チャリハ&エドワード・レ・ジョリー「マザー・テレサ 日々のことば」女子パウロ会

ひふの話

その 72

市川 雅子(皮膚科医師)

マダニとツツガムシ



マダニは、家ダニなどと違い、3mmくらいのダニで、血を吸うとスイカの種くらいの大きさになります。日本全国の森や林、草地などに広く存在します。マダニに刺されることで感染する病気は複数あり世界中でみられます。日本では中国地方から九州地方に多い日本紅斑熱、本州の中部以北で見られるライム病が有名ですが、近年重要視されているのが重症熱性血小板減少症(SFTS)です。見つかったのは中国の山岳地帯ですが、日本でも毎年報告され死亡者が出ています。そして今年6月、日本で初めて、マダニからオズウイルスに感染し死亡した

患者さんが報告されました。全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、万が一病原体を持った虫体に刺された場合、重篤な症状が出る場合があります。もし虫体が皮膚に食い込んでいる場合は無理に引っ張ると虫体内の病原体を押し込む危険がありますので、医療機関を受診して下さい。

ダニに関連してもう一つ、ツツガムシについても簡単に触れます。ツツガムシもダニの一種で成虫でも1mmくらい小さなダニです。ヒトを刺すのは幼虫です。東北地方より南の地域の河川敷や草地などに広く分布しています。やはりすべての虫体に病原体があるわけではありませんが、感染すると、刺し口が黒っぽいかさぶたになり、その周りが赤くなります。そして高熱や全身の発疹などが出てきて、時に死に至ります。

マダニもツツガムシも、やはり刺されないようにすることが最も重要です。刺されそうな場所に行くときは、肌の露出は極力さけ(頭や首筋も注意)、また、虫よけスプレー(ディートカイカリジン含有)も使って防御して下さい。トイレの時や服を着替える時にも服についた虫が刺さないように慎重に脱ぐこと、そして、皮膚の観察、です。もし、皮膚に気になる変化を見つけた場合には皮膚科を受診しましょう。

お知らせ

ギャラリー・マルゴ

10月18日(水)

11時~14時(予定) 会議室にて
患者様の手作り作品展の予定です



マルゴ：
フロジャク神父さまの
愛犬の名前です。

編集後記

私は、日本三大鍾乳洞の一つとされる岩手県にある龍泉洞がとても好きです。龍泉洞は洞内に棲むコウモリと共に国の天然記念物に指定されている様です。洞内温度は10度位だったと思います。とてもひんやりとしていて、上からポタポタとしずくが落ちてきました。芸術品の様な鍾乳石はライトアップされています。世界有数の透明度の目の覚める様な地底湖は、本当に綺麗で疲れた私を癒してくれます。外に出ると、目の前の川で子供と釣りするのが楽しみの1つになっています。ヤマメやアユ、イワナが釣れいつも美味しく頂いています。

早く行きたいなあ…。 (F.S)

